

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新居浜市立南中学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0811
愛媛県新居浜市庄内町二丁目4番47号

E-mail niisj-ad@esnet.ed.jp
Website https://niihama-minami-j.esnet.ed.jp/cms/

幼児児童生徒数 男子 240名 女子 211名 合計 451名
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

テーマ 「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成

① 環境に係わる活動

8月20日に新居浜市の「花いっぱいのもちづくり」及び「平成29年度クリーン愛媛運動」の一環として、1年生が校区の公民館や自治会、校区の小学校と連携し、駅前シンボルロードに日々草とマリーゴールドを植えた600個のプランターを設置した。小学生と中学生、地域住民との交流を積極的に進めた。

② 防災に係わる教育

10月22日に新居浜市消防本部新居浜北消防署などの協力を得て防災体験学習を実施する計画を立てた。この体験学習を実施するにあたり、3年生は9月から総合的な学習の時間を使って、防災について講演を聴いたり、自分たちで資料を探してきて防災新聞の作成を行ったりした。防災講演会は、新居浜市防災安全課から講師を招き、「地震への備え」について、中学生は自然災害が起こったときに被災者となるだけでなく援助者として、自助・共助・公助が必要になることを学んだ。

防災新聞づくりは、生徒が関心をもった課題（課題の選択）について、自分たちで資料を集め（情報の収集）、資料を整理・分析し（整理・分析、まとめ・表現）、文化祭で展示（情報発信）することによって、探求の学習のプロセスを学んだ。

③ 地域の産業に係わる学習

1年生はキャリア教育の一環として、新居浜市ものづくり産業振興センターの協力を得て、「ものづくり体験講座」を実施した。新居浜市内の企業から講師を招き講演会を実施したり、学級別で大企業の住友重機械工業や中・小企業の曾我部鉄工所や西岡鉄工所を訪問したりした。ものづくりの現場を直接見学する機会は生徒たちにとって初めての経験で、新居浜市のものづくりを支える技術やその技術を次の世代に受け継いでいく大切さを学んだ。



①の写真



②の写真



②の写真



③の写真

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(持続可能な都市)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

防災に関わる学習については、総合的な学習の時間を中心としてユネスコスクールとしての活動に取り組んでいる。1年生の大洲青少年交流の家での活動や2年生の職場体験学習、全学年で実施した遠足など、一部を学校行事として取り組んでいるものもある。それぞれの教科の特性に応じて、探求的に課題解決を進めたり、地域や級友との協働的な学習を進めたりして、「共生社会」「持続可能な社会」の実現を目指す生徒の育成を図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

夏季休業中の全教職員に対する研修として、SDGsについて研修を行い、各自の教科における教材をESDの視点から捉え直す作業を行った。また各学年で実施している、総合的な学習の時間の活動内容について、ESDの視点を通して見直し、見直した結果を「総合的な学習の時間」部会の中で再検討し、次年度につなげる活動を行った。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

内部評価として、各学期末に教職員対象に学校評価を実施している。その項目の中で総合的な学習の時間や学校行事に対する反省を行っている。自由記述の欄では、各学校行事に対してESDの視点からも指摘があった。（生徒が主体的に動いていない。探求的な取組でない。）
外部評価は学校評議員に対してのみ学校評価を実施したが、各行事等で関わった地域の住民からは、口頭ではあるが生徒の様子について評価をいただいた。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

文化祭の中で、各自が実施してきた総合的な学習の時間の取組について発表を行った。各学年の代表者が生徒、保護者、地域住民の前でプレゼンテーションを行ったり、各学年館で調査したことを新聞形式にまとめた作品を展示したりした。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

1年生の「ものづくり体験講座」において、新居浜市ものづくり産業センターや新居浜ものづくり人材育成協会の協力をいただいた。2年生の職場体験学習では、新居浜市内の企業に協力していただいて実施した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

防災体験学習を計画した段階で、昨年度の取組で学校方地域へ呼び掛け、地域自治会の防災訓練とタイアップした。今年度は、地域から「今年度もぜひ一緒に体験させてほしい」と要望があり、計画を進めた。当日は荒天で実施できなかったが、来年度以降続けていきたいと考えている。

（3）平成30年度の活動計画

「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成のテーマは継続していく。1年生は「環境」、2年生は「地域とのつながり」、3年生は「防災・減災」を主なテーマに取組を進める。具体的には1年生は地域での美化活動を実施したり、地域の環境と自然災害についての探求的な学習を進めたりする。2年生は職場体験学習を通して、地域の企業とつながり、それぞれの企業の姿から持続可能な社会の実現を目指すために必要なことについて考える。3年生は防災体験学習を中心として、自助・公助・共助のあり方について、自分がどのようにかかわればよいのかを考えていく活動を進めていく。